



2021年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月10日

上場会社名 株式会社トーホー

上場取引所 東 福

コード番号 8142 URL <https://www.to-ho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 古賀 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部担当 (氏名) 佐藤 敏明

TEL 078-845-2431

四半期報告書提出予定日 2020年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	45,372	17.7	1,243		1,208		1,018	
2020年1月期第1四半期	55,143	4.9	361	13.4	402	8.0	275	161.9

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 1,836百万円 (%) 2020年1月期第1四半期 334百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	94.66	
2020年1月期第1四半期	25.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	86,686	22,478	25.0
2020年1月期	90,745	24,613	26.2

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 21,696百万円 2020年1月期 23,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		25.00		25.00	50.00
2021年1月期					
2021年1月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において2021年1月期の配当金については未定であります。

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年1月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を、現段階において見通すことは困難なことから、未定としております。業績予想の合理的な算定が可能となりました時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	11,012,166 株	2020年1月期	11,012,166 株
期末自己株式数	2021年1月期1Q	255,028 株	2020年1月期	254,968 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	10,757,165 株	2020年1月期1Q	10,757,303 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年1月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を、現段階において見通すことは困難なことから、未定としております。当該理由等の詳細につきましては、P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年2月1日から2020年4月30日まで)におけるわが国経済は、世界各地で新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本国内においても3月以降の外出自粛・休業要請等に加え、4月の緊急事態宣言の発出・対象地域拡大の影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され景気が急速に悪化いたしました。

このような状況のもと、当社グループは第七次中期経営計画(3ヵ年計画)「IMPACT 2020」(2019年1月期(2018年度)～2021年1月期(2020年度))の最終年度として、更なる企業価値の向上を図るべく、8つの重点施策に沿った取組みを推進いたしました。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大は、当社グループの主な販売先である外食産業の経営環境の悪化を招き、当社グループにおきましても業務用食品卸売事業を中心に、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は453億72百万円(前年同期比17.7%減)、営業損失は12億43百万円(前年同期は3億61百万円の営業利益)、経常損失は12億8百万円(前年同期は4億2百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億18百万円(前年同期は2億75百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。これにより前第1四半期連結累計期間につきましても変更後の区分により作成したものを記載しております。

詳細は、P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

<ディストリビューター(業務用食品卸売)事業部門>

当事業部門におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、主な販売先である飲食店やホテル、テーマパークなどにおいてインバウンド消費が急激に減少したことに加え、4月7日に発出された緊急事態宣言に伴う広範囲における営業自粛・外出自粛要請等により市場は急速に縮小し、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。なお、4月までに7会場で開催を予定していた総合展示商談会につきましては、2月中旬以降は延期もしくは中止(3会場のみ実施)を余儀なくされました。

一方、事業基盤の強化につきましては、北陸エリアの更なるシェア拡大を図るべく、4月に連結子会社である㈱プレストサンケー商会(石川県金沢市)を㈱トーホーフードサービスに吸収合併し、「金沢支店」として新たに営業を開始いたしました。また、海外事業基盤につきましては、M&A戦略により、2月に香港で日本食材等の業務用食品卸売事業を営むSuitfit Company Limited(通称: Tai Fat Hong Provision Company)を連結子会社化し、TOHO FOODS HK CO., LTD.との連携を図りました。

以上の結果、当事業部門の売上高は278億76百万円(前年同期比25.4%減)、営業損失は13億60百万円(前年同期は3億73百万円の営業利益)となりました。

<キャッシュアンドキャリー(業務用食品現金卸売)事業部門>

当事業部門におきましては、㈱トーホーキャッシュアンドキャリーが運営するプロの食材の店「A-プライス」において、主要顧客である中小飲食店に対して「ごちそう洋食フェア」「春食材フェア」などの全店統一フェアを継続して実施いたしました。一方、展示商談会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3会場で延期、1会場で中止いたしました。

事業基盤を強化するため、A-プライスにおいて、2月に西神戸店(神戸市西区)、3月に小倉南店(北九州市小倉南区)、4月に丸亀店(香川県丸亀市)の計3店舗を改装するとともに、4月に下関店(山口県下関市)を移転いたしました。なお、2月にワンストップ型キャッシュアンドキャリー「せんどば」の運営を㈱トーホーから㈱トーホーキャッシュアンドキャリーに移管し、ノウハウの融合による事業力の強化を図りました。

以上の結果、新型コロナウイルスの感染拡大による顧客の営業自粛が影響した一方で、当期から新たに加わった「せんどば」が着実に売上を拡大し、収益も徐々に改善していることもあり、当事業部門の売上高は93億91百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は36百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

<食品スーパー事業部門>

当事業部門におきましては、日常消費への節約志向や業界の垣根を越えた競争の激化が継続する一方で、4月以降は新型コロナウイルスの感染拡大による巣ごもり需要が拡大いたしました。こうした状況の中、ストアコンセプトである「健康で安心な地域の冷蔵庫」「あなたの街の食品スーパー」「毎日のおかずを提供する店」を実践すべく、商品の安定供給に努めるとともに感染拡大防止対策に細心の注意を払いつつ、一部店舗で営業時間の短縮を行いながら、営業を継続いたしました。

また、収益力の向上を図るべく、商品の改廃や発注量の適正化を図り、ロス管理を徹底するとともに、コスト・コントロールにも継続して取り組みました。

以上の結果、当事業部門の売上高は47億73百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は45百万円（前年同期は1億2百万円の営業損失）となりました。

<フードソリューション事業部門>

当事業部門におきましては、品質管理、業務支援システム、業務用調理機器、店舗内装設計・施工などの「外食ビジネスをトータルにサポートする」機能について提案を強化いたしました。

以上の結果、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はありましたが、当事業部門の売上高は33億30百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は34百万円（同62.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

・総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ40億59百万円減少し、866億86百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が39億35百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が75億75百万円減少したことなどによるものであります。

・負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ19億24百万円減少し、642億8百万円となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金が60億73百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が73億49百万円減少したことなどによるものであります。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金の総額は359億58百万円（前連結会計年度末298億85百万円）となりました。

・純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ21億35百万円減少し、224億78百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失10億18百万円と配当金の支払2億68百万円（前期末1株当たり25円）による利益剰余金の減少12億87百万円、為替換算調整勘定の減少4億54百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億41百万円、退職給付に係る調整累計額の減少28百万円によるものであります。自己資本比率については総資産の減少により、25.0%と前連結会計年度末の26.2%に比べ1.2ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で発表の通り、未定とさせていただきます。今後、合理的な算出が可能となりました段階で速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,940	10,876
受取手形及び売掛金	18,761	11,186
商品及び製品	12,181	12,510
原材料及び貯蔵品	39	36
その他	3,691	3,349
貸倒引当金	△86	△62
流動資産合計	41,529	37,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,316	10,210
土地	15,649	15,649
その他(純額)	3,991	3,852
有形固定資産合計	29,957	29,712
無形固定資産		
のれん	7,072	7,264
その他	1,119	1,089
無形固定資産合計	8,191	8,354
投資その他の資産		
投資有価証券	2,426	1,903
関係会社株式	468	454
敷金	4,091	4,078
退職給付に係る資産	3,108	3,159
その他	1,127	1,299
貸倒引当金	△155	△173
投資その他の資産合計	11,066	10,721
固定資産合計	49,216	48,789
資産合計	90,745	86,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,333	19,983
短期借入金	9,594	13,567
未払法人税等	795	176
賞与引当金	489	1,078
その他の引当金	262	253
その他	3,499	3,486
流動負債合計	41,973	38,546
固定負債		
長期借入金	20,291	22,390
引当金	6	6
退職給付に係る負債	600	607
資産除去債務	778	807
その他	2,481	1,850
固定負債合計	24,158	25,661
負債合計	66,132	64,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,344	5,344
資本剰余金	5,089	5,089
利益剰余金	13,273	11,986
自己株式	△638	△639
株主資本合計	23,068	21,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	568	226
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△185	△639
退職給付に係る調整累計額	357	329
その他の包括利益累計額合計	738	△84
非支配株主持分	806	781
純資産合計	24,613	22,478
負債純資産合計	90,745	86,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	55,143	45,372
売上原価	44,613	36,399
売上総利益	10,530	8,972
販売費及び一般管理費	10,168	10,216
営業利益又は営業損失(△)	361	△1,243
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	18	—
その他の金融収益	—	9
その他	54	59
営業外収益合計	77	74
営業外費用		
支払利息	22	25
持分法による投資損失	—	6
その他の金融費用	0	—
その他	14	7
営業外費用合計	37	39
経常利益又は経常損失(△)	402	△1,208
特別利益		
固定資産売却益	0	4
負ののれん発生益	241	—
特別利益合計	242	4
特別損失		
固定資産除却損	20	29
段階取得に係る差損	95	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	21
その他	0	17
特別損失合計	115	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	530	△1,272
法人税等	251	△260
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278	△1,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	275	△1,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278	△1,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△341
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	89	△455
退職給付に係る調整額	△36	△28
その他の包括利益合計	55	△825
四半期包括利益	334	△1,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	△1,841
非支配株主に係る四半期包括利益	2	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、2021年1月期においては、政府から発令された緊急事態宣言や、地方自治体からの外出自粛要請等により厳しい制約の下で営業収益等の減少が発生するものの、2021年1月期中に現在の社会混乱がおおよそ落ち着き、通常の世界社会生活、経済活動を取り戻せるとの仮定を置いて、会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性等)を行っております。

なお、四半期報告書作成時点においては、入手可能な情報によって見積りを行っておりますが、今後、実際の推移が上述の仮定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	ディストリ ビューター 事業	キャッシュ アンドキャ リー事業	食品 スーパー 事業	フードソリ ューション 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,366	9,656	4,995	3,125	55,143	—	55,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注)1	21,100	108	0	1,111	22,320	△22,320	—
計	58,466	9,764	4,995	4,237	77,464	△22,320	55,143
セグメント利益又は損失(△)	373	△3	△102	93	361	—	361

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△22,320百万円は、セグメント内及びセグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「ディストリビューター事業」において2019年3月19日を効力発生日として関東食品株式会社の株式を取得いたしました。これに伴い当第1四半期連結会計期間において、241百万円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	ディストリ ビューター 事業	キャッシュ アンドキャ リー事業	食品 スーパー 事業	フードソリ ューション 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,876	9,391	4,773	3,330	45,372	—	45,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注)1	14,511	89	0	1,025	15,626	△15,626	—
計	42,388	9,481	4,773	4,355	60,999	△15,626	45,372
セグメント利益又は損失(△)	△1,360	36	45	34	△1,243	—	△1,243

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△15,626百万円は、セグメント内及びセグメント間取引
消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、当社から当社の連結子会社である株式会社トーホーキャッシュアンド
キャリアへ「ワンストップ型キャッシュアンドキャリア事業」を会社分割の方法により事業承継したことに伴
い、従来「フードソリューション事業」に含まれていた「ワンストップ型キャッシュアンドキャリア事業」を
「キャッシュアンドキャリア事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載し
ております。